

番号	概要
1	文化芸術の役割は慰め、東日本大震災では、地域で歌い継がれた歌に、地域の人が一番慰められた。
2	コロナで芸能活動自粛、停止で文化芸術がなくなると、人々は何に慰められるのか。
3	アーティストは無形の公共財を作っている。
4	宮城県女川町は、震災後、早くに地域のまつりを復活させた。
5	まつりをきっかけに地域が団結し、高台移転等の協議も早く進み、復興も早かった。
6	計画の中でも、まつりの復活や伝承は、地域のコミュニティづくりにとって大切なので重要。
7	文化芸術は認知症予防にも効果があると言われている。
8	アメリカでは、社会的処方箋ということで、ダンスやコーラスへ行く等処方されている。
9	病院のデザインも、誰もがいやがらない建物にするためアートを取り入れている。
10	人口減少、スキー人口が減ったから出会いの場がなくなり若者人口が減った。
11	昔は、出会いの場として、ジャズ喫茶や古本屋等、映画館等、雰囲気のある場所があった。
12	地方は、非婚化、晩婚化が課題。
13	子どもを産んだら補助金を出すところがあるが、お金では子どもは増えない。
14	地方は出会いの場が少ない。職がないからではなく、都会のような刺激がない。
15	おもしろいまち、帰りたくなるまちを目指さなければいけない。
16	以前は、高卒の男子を田舎の企業に囲い込み、都会への転出を少なくする作戦だった。
17	女性の4年生大学への進学率が上がったことで、女性も帰ってこなくなった。
18	コロナで地方移住を考えている人は増えている。今がチャンス。
19	帰って来ない理由をつぶしていく。
20	医療、教育、文化が良くないとダメ。移住先として考えてもらえない。
21	淡路島にパソナが移転したが、親は中高一貫の進学校に通わせたいので明石に住むのではないか。
22	久美浜高校では、近大豊岡の附属中学校へ生徒が行ってしまうと言っていた。

23	若い親は教育水準の高いまちに住む。
24	Iターン、Jターンを考える人にとって、図書館は重要。文化政策の顔となるのが図書館。
25	スイミングスクール、食文化、おしゃれなカフェ、スイーツ等が無いと人は引き寄せられない。
26	アジアの諸外国では、文化観光は同じ省庁が担っている。
27	円安で東アジアの経済発展はいちじるしい。
28	円の価値は半分になり、城崎の2万円の宿に1万円で泊まってもらえる。
29	文化観光が日本は弱い。ウィーンは、世界中から富裕層が来る。オペラは毎日違うものを行い飽きさせない。
30	昼は、スポーツやマリンレジャー、夜はオペラや演劇鑑賞で何日も滞在してもらう。
31	観光が絡むことで、そこに新たな雇用が生まれ、まちは税収が上がり、活性化され新たな事業に取り組みおもしろいまちとなる。
32	観光客は昼は軽食で、夜は贅沢するので泊まってもらわなければいけない。泊まってもらうには、夜の文化観光が大切。
33	シンガポールは、ショッピングやマーライオンでは、何度も来てもらえないので、中国人の富裕層の音楽好きをターゲットに最高の音楽を提供できる政策をとっている。
34	北近畿は沢山の観光資源があるのに、観光資源の回遊性がない。2泊、3泊してくれればもっと儲かる。
35	海外の富裕層に来てもらって、2～3週間滞在してもらう。
36	城崎国際アートセンターでは、世界のアーティストが稽古を行い、リハーサルやワークショップを行い、世界とふれあえる空間がある。
37	久美浜高校も大学入試改革への対応として、演劇教育を取り入れている。
38	地方の子は、本物に触れる機会が少ないので身体的文化資本が低く、コミュニケーションが弱い。
39	地方と都会の文化格差は深刻、発見すらされていない。
40	子どもだけでは、本物の演劇や音楽等見に行けないが、親が好きなら一緒に見に行ける。ここで格差が生まれる。
41	ここに公的な資金が入らないと、誰もが身体的文化資本を見に付けることができない。
42	入試改革への対応のため、地方こそ本物の質の高い文化芸術をシャワーのようにあびさせる必要がある。
43	子どものために「勉強しなさい」は逆効果、成績をあげたければ美術館やミュージカルを見に行け。
44	子どもは親も地域も選べないので、京丹後市が本物にふれる体験をさせてあげることが大切。
45	格差が起きにくくするための施策が大切。その施策の効果は30年後から50年後に出てくる。